

2018年度紀要の発刊にあたり

Introduction



デジタルハリウッド大学大学院 デジタルコンテンツ研究科 教授
デジタルハリウッド大学 デジタルコミュニケーション学部 教授

高橋 光輝

Mitsuteru Takahashi

1997年から、アメリカ本土における日本語TV放送局にてディレクターとしてテレビ番組製作業務に従事。デジタルコンテンツの製作・プロデュースを手がける。2005年からメディア・コンテンツ分野の研究員として活動。映画やアニメなど「コンテンツ産業論」や「アニメ学」等の著書を発行。文化庁や外務省などの依頼で世界各国で日本のアニメやゲームなど日本のコンテンツ産業の講演活動を続けている。プロデューサー、クリエイターの育成などコンテンツ教育に豊富な経験を持つ。2017年度よりコンテンツ教育学会理事長を務める。

デジタルハリウッド大学は、2004年に専門職大学院として認可を得て、大学院大学が開校。

翌2005年に4年制大学も開校した。

学部や専門職大学院では、デジタル技術を手法とする作品や、多彩なコミュニケーションメディアによって、既存の芸術等の概念にとどまらない、新たなエンタテインメント文化を創成している。情報技術やデジタル技術を駆使した表現、映像技術とともに普及するデジタルコンテンツは、現在のテクノロジーや社会状況に批評的な視点を与え、多様化する価値観に対して想像力の共有をもたらした。

特に専門職大学院では、高度な専門家の知見を院生に伝授していくという当初の目的に加えて、徐々に学術研究の基盤が醸成され、近年その成果を論文としてアウトプット化し、発表していくという流れも高まった。そして、毎年紀要を発行できる体制を構築した。

今年度の紀要の編集においては、編集委員会を組成して査読を行い、論文や研究ノートを掲載した。また、内容においてもコンテンツ産業のみならず、デジタルヘルスやキャラクタービジネス、コンテンツ教育等、様々な分野に本学の研究開発が広がっている状況を提示することができた。この紀要により、デジタルコンテンツ分野を牽引する本学の研究の取り組みや多岐にわたった論文テーマから、次代を見据えた本学の研究の深化を感じていただければ幸いである。

デジタルハリウッド大学大学院 デジタルコンテンツ研究科 教授
デジタルハリウッド大学 デジタルコミュニケーション学部 教授

高橋 光輝